

夕刊

# 読賣新聞

2  
3 4 5  
7  
10  
8 9  
商況 11

東京本社 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 電話(03)3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

東京都国分寺市にある古刹・東福寺の前を通ると、高台にある本堂から、ただならぬ視線を感じる。目を向けると、白と茶色を基調にした本堂とは対照的に、オレンジやピンクの蛍光色で描かれた大日如来様がこちらをじっと見ている。

## 「如来様」は極彩色

議な空間に様変わりしたのは、今年2月。寺をプロデュースしたのは、ポップアート作家の西尾有未さん(29)だ。

「ポップアートの『ポップ』はポピュラー、大衆的という意味。仏様も大衆のよりどころなんだから、失礼じゃないはずよね」。全身真っ黒な服と厚底の靴がトレードマークだ。

ポップアートに目覚めたのは、父親の仕事の都合でカナダ・モントリオールで過ごしていた小学3年生の時だ。スーパーにブラリと並んだ色とりどりのグミやキャンディー、チョコレートに心を奪われた。「なんてかわいいの!」。夢中で好きな色を見つけ、舌には着色料で極彩色に染まった。

## しあわせ小箱

ポップな古刹 \* 1

境内に入ると、鳴らせば御利益があるという「恋の鐘」。こちらは蛍光色の大日如来様に負けない派手なピンク色をしている。その前にはスマートフォンで「自撮り」するためのスタンドまである。

フライヤーは国内最大級の仮想通貨交換業者となる。金融庁は登録申請中の「みなし業者」である「コインチェック」が巨額の仮想通貨を流出させた事件を契機に仮想通貨交換

残念。選手も困惑している

● 栄前本部長「責任痛感」

日本レスリング協会の第三者

夕刊

# 読賣新聞

2  
3  
小町 8  
6 7  
8 9  
商況 4

東京本社 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 電話(03)3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

カラフルなお菓子を  
ほおぼりながらポップア  
ートに目覚めた西尾有未  
さん(29)。子供の頃から  
絵を描くのが大好きで、  
その色遣いはどんどんカ  
ラフルになっていっ  
た。

小学2年生から10年  
間、絵画教室に通い続  
け、日大芸術学部に進  
学。そこで興味を持っ  
たのが、社会貢献や地  
域の活性化などにつな  
がる取り組みを企画す  
る「コミュニティショ  
ンデザイン」だった。  
卒業を前にした201

## しあわせ小箱

ポップな古刹 \* 2

0年秋、大学  
4年間を過ご  
した東京・西  
国分寺地域に  
何かを残した  
いと考え、「ご  
当地キャラ」  
作りを思い付  
いた。

## 瓦の妖精 直感デザイン

「モチーフになりそう  
なものは何かないかな  
あ」。街をぶらぶら歩い  
ていると、武蔵国分寺公  
園で**鍍瓦**のレリーフを  
見つけた。鍍瓦は瓦屋根  
の軒先を飾る丸い瓦。  
奈良時代に建立された  
旧武蔵国分寺の史跡で  
は、ハスの花の文様が  
刻まれた鍍瓦が多く出  
土している。

「これだ!」。直感  
でデザインが浮かぶ  
と、30分後には鍍瓦の  
妖精が誕生していた。  
カラフルなキャラクタ  
ーかと思いきや、瓦が  
モチーフだけに全身灰  
色。ハスの花が描かれた  
円形の顔に、とぼけた感  
じの目と鼻はかわいらし  
い。ただ、大きな顔から  
直接、細い足が2本ニョ  
キッ。デザインを見せた  
友人の感想は「どこか気  
持ち悪い……」。

認定。運輸安全委員会は同  
日、事故調査官3人を同空  
港に派遣することを決め

解析できる。本マグロの  
り身で試したところ、脂  
の割合が大トロは約40  
、中トロは約20%、赤身  
10%未満などと測定で

た。

国交省によると、同機は  
9日午後8時25分に済州を  
出発。関西空港で着陸をや  
り直そうとした際、機体後  
部の下面を滑走路に接触さ  
せた。同機はそのまま上昇  
し、約15分後に同空港に無  
事着陸した。着陸後に機体

夕刊

# 読賣新聞

東京本社 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 電話(03)3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

2010年に誕生した東京・西国分寺地域のご当地キャラは、「にしこくん」と名付けられた。「気持ち悪い」と友人に言われながらも、ポップアート作家の西尾有未さん(29)は「なんで? かわいいのに」と、世に送り出す活動をスタートさせた。

とはいえ、行政のお墨付きがある「公認キャラ」ではない。活動費はすべて自腹だ。まずは、当時流行し始めていたツイッターで、にしこくんを発表した。「よく

## しあわせ小箱

ポップな古刹 \* 3

見るとかわい  
いかも」。少  
しずつ好意的  
な反応が増え  
ていった。  
ご当地キャラだけに、地元にも愛され

## 「キモかわいい」で全国区

ないといけない。夜な夜な紙粘土でにしこくんのストラップを作り、地元のお店に置いてもらえるように頼んでまわった。しばらくすると「キモかわいい」と話題になり、ストラップを置いてくれた店の前には、行列ができるようになった。

「くまモン」(熊本県)が1位になったゆるキャラグランプリ2011では、約350作品の中から堂々の3位に選ばれた。にしこくんは一躍、全国区に躍り出て、テレビ出演やグッズ制作の依頼が殺到した。

全身グレーのにしこくんに対して、自分は真っ黒な衣装に身を包む。だって、私も作品の一部。作家として個性がほしいと思って」

交差点に時速約88キロで進入。那覇市の男性会社員(当時61歳)の軽トラックと衝突し、男性を死亡させた。

可能性がある」と追加の連絡があった。広島県警は「盗難車を追っている段階では、脱走犯が乗った車と認

## 社会面に情報を

〒100-8055  
読売新聞 社会部  
FAX 03-3217-8363  
shakai@yomiuri.com

写真はこちらへ  
dokusyap@yomiuri.com

リアで、止まっていた乗用車の助手席で高齢の女性が死亡しているのを県警捜査

追加特別公演決定!

待望の初のフルオーケストラ公演決定!

佐久間良子 & 中山優馬 出演、西本智実総合プロデュースによる伝統と革新のオペラ

2018年(平成30年)

4月12日 木曜日

# 夕刊 読賣新聞

2  
3  
6  
7  
5  
7  
9

東京本社 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 電話(03)3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

東京・西国分寺地域のご当地キャラ「にしこくん」が全国デビューを果たす一方、ポップアートの作家の西尾有未さん(29)には、ずっと心に引っかかっていたことがあった。にしこくんのモチーフになった**鍔瓦**(つばがわ)の  
本家本元の系譜を継いでいる武蔵国分寺に  
いさつしていなかったのだ。

2016年夏、意を決して寺を訪ねた。「あのー、にしこくんを作った者なんですけど……」。笑顔で迎えてくれたのは、副

## 箱小せわあし

ポップな古刹 \* 4

住職の星野亮  
裕さん(53)。  
「いつ来てくれるのかと思  
ってましたよ」。実は、  
星野さんも無類のアート好

## ご本尊までアートに

き。キース・ヘリングやアンディ・ウォーホルの作品など、好みも一緒。すぐに意気投合した。すると、星野さんから思いがけない提案があった。「この寺のお守り、作ってみませんか？」

お守りのデザイン、寺のロゴマーク、境内の案内板まで次々とプロデュースした。その中でも一番の大仕事は、ご本尊をポップに描くこと。それまで仏様を描いたことはなかった。まして重要文化財に指定され、年に一度しか開帳されないご本尊だ。

穏やかな表情はそのま  
まに、紫やオレンジの奇  
抜な色合いで描ききつ  
た。「鍔瓦の妖精が結ん  
でくれたご縁よねえ」。  
ポップなご本尊を見なが  
らそう思った。

線の仙台発白石行き普通  
仙台市の老人クラブ会員  
行く仲間のために座席に  
10席分確保していたこと  
ネット上で批判され、同  
フ連合会がホームページ  
謝罪していたことがわか

う。

次の停車駅の長町駅で乗  
車した65、80歳代の他の会  
員たちが座り、8駅先にあ  
る桜の名所「一目千本桜」に  
近い大河原駅で降りた。座  
れずに立ったままの乗客も  
複数おり、JR東日本仙台  
支社によると、車内で車掌

2  
3  
5  
6 7  
8  
4

# 夕刊 読賣新聞

聞東京本社 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 電話(03)3242-1111(代) www.yomiuri.co.jp

に「今の段階で考えているわけではない」と改めて否定した。  
麻生氏は「あの種の話は今の時代、明らかにセクハラの対象と言われるのは、はつきりしている」と述べた。一方で、「週刊誌の話が全て事実とは言えない」とも指摘し、「本人の実績

## しあわせ小箱

ポップな古刹 \* 5

ともあつて、「他の寺にはないものをお願いね」と難しい注文がつく。境内にピンク色の枠で飾った「恋の鐘」を

東京・西国分寺地域にある武蔵国分寺をポップアートでイメージチェンジした西尾有未さん(29)。評判が広がり、「うちの寺もポップにイメチェンしてほしい」といった依頼が舞い込むようになった。依頼してきた住職同士が知り合いというこ



### 「唯一無二」これからも

エンを提案しよう。あつと驚く仕掛けを施すようところがけている。今のところ、どの住職も気に入ってくれているようだ。  
「当地キャラ」にしこくん」の縁で、思いがけず寺のデザインに携わるようになり、「ポップアートと寺の融合」というテーマも見えてきた。仏像のポップアートをもっと描いて個展を開きたいという夢もできた。「もちろん、新たな仕掛けも考えて参拝者を驚かせるつもりですよ」  
(了)

文・池本佐恵

### 社会面に情報を

〒100-8055 読売新聞社会部  
FAX 03-3217-8363  
shakai@yomiuri.com

### 写真はこちらへ

dokusyap@yomiuri.com

12日発売の週刊新潮は、福田氏が女性記者と夜に会食し、セクハラ発言を繰り返して「こころ」を報じた。